

2009年3月期 第3四半期決算補足資料
2009年3月期業績予想

2009/01/26

 株式会社日立ハイテクノロジーズ

2009年3月期第3四半期決算補足資料

I 2009年3月期 業績予想

II 参考:データ集

I

2009年3月期 業績予想

2009年3月期業績予想(ハイライト)

(億円)

	前回予想	業績偏差	今回予想	対前回予想 増減率
売上高	8,800	△1,200	7,600	△14%
営業利益	350	△180	170	△51%
経常利益	353	△170	183	△48%
当期純利益	220	△129	91	△59%

(注1)第1四半期連結会計期間より、半導体製造装置、液晶関連製造装置等、出荷後に据付作業を要する製品の収益認識基準を出荷基準から据付完了基準に変更しております。

(注2)前回予想(2008年10月公表値)
今回予想(2009年 1月公表値)

(注3)08/4Q 想定レート:1USD= 92円
1EUR=115円

2009年3月期 業績予想（偏差説明）

対前回予想値(2008年10月2Q決算発表時)比較

偏差説明

売上高 (8,800億円 → 7,600億円 Δ 1,200億円*)

* 為替による影響額(主に海外連結子会社の換算差額)約 Δ 500億円含む

- 電子デバイスシステム:半導体製造装置、液晶関連製造装置の投資延期等により295億円減
- ライフサイエンス:欧米向け医用分析装置は堅調に推移するも、為替換算等により85億円減
- 情報エレクトロニクス:チップマウンタ、半導体デバイスの不振等により255億円減
- 先端産業部材:液晶関連部材の需要減、鉄鋼・樹脂等の素材価格の下落等により565億円減

営業利益 (350億円 → 170億円 Δ 180億円)

- 電子デバイスシステム:半導体用評価・検査装置、液晶用モジュール組立装置の売上減等により113億円減
- ライフサイエンス:汎用分析装置の出荷減等により15億円減
- 情報エレクトロニクス:チップマウンタの不振等により41億円減

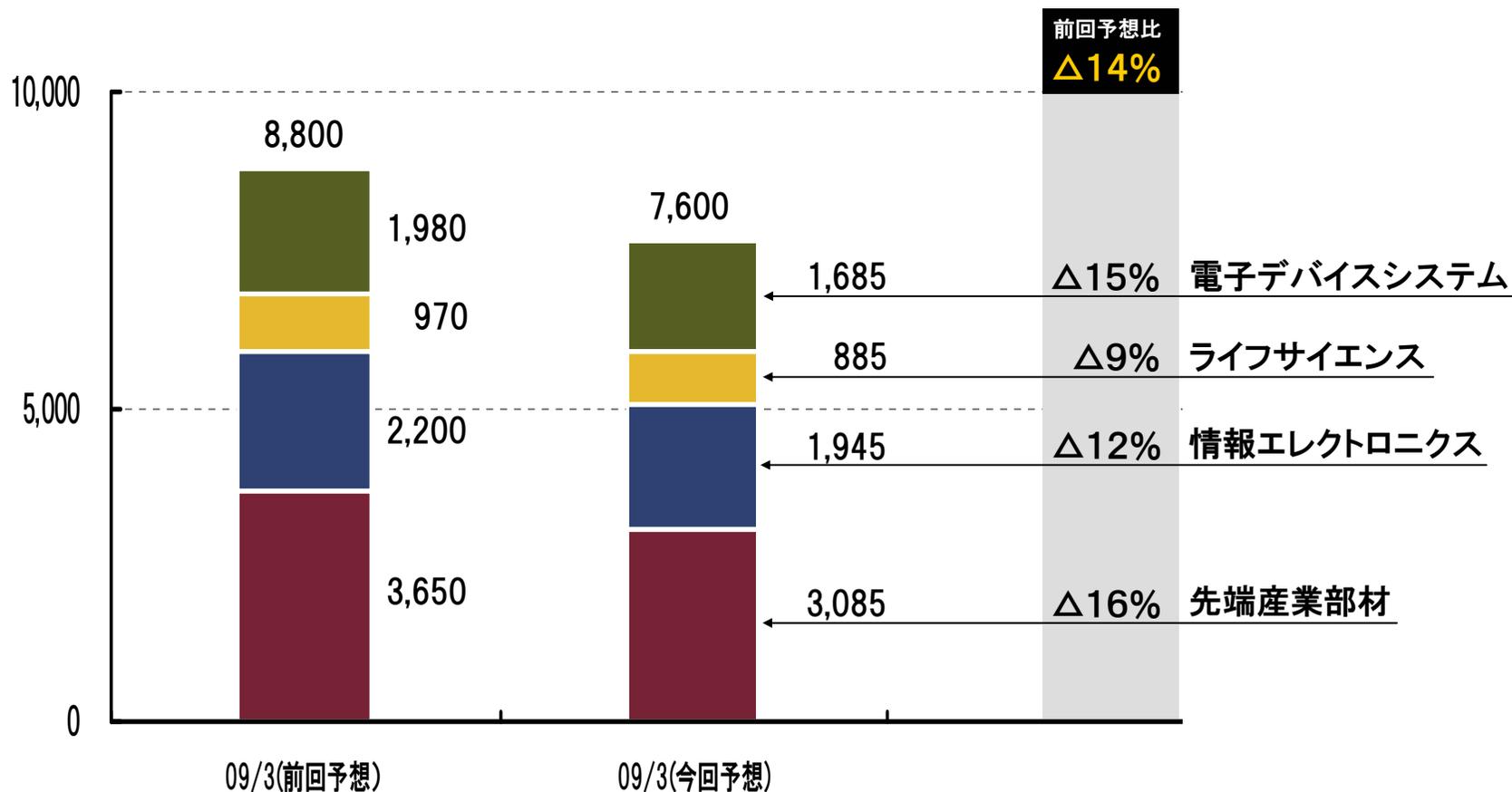
当期純利益(220億円 → 91億円 Δ 129億円)

- 営業利益 Δ 180億円 / 営業外損益+10億円 / 特別損益 Δ 11億円 / 法人税等+52億円

2009年3月期業績予想(売上高)

売上高

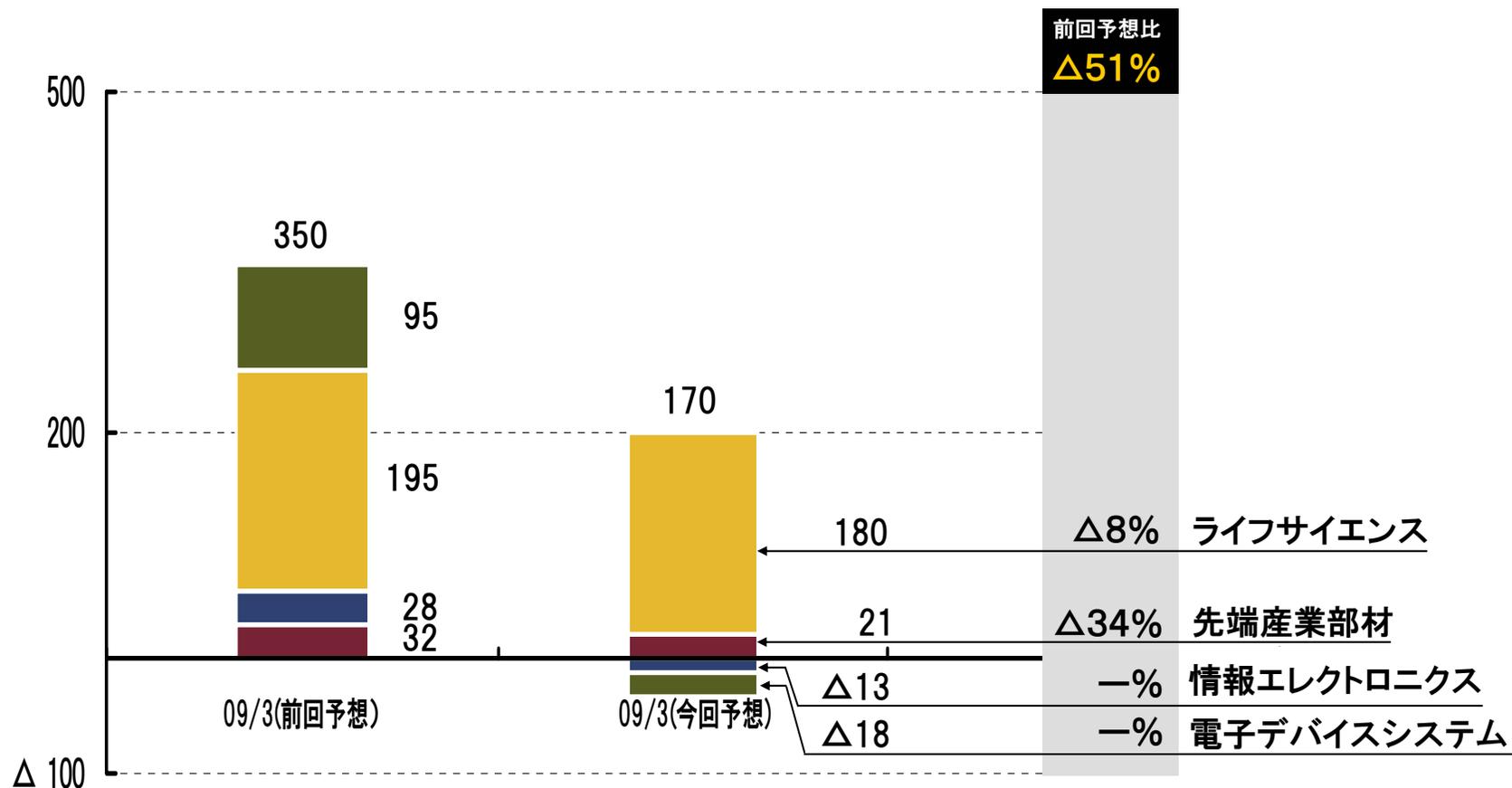
(億円)



2009年3月期業績予想(営業利益)

営業利益

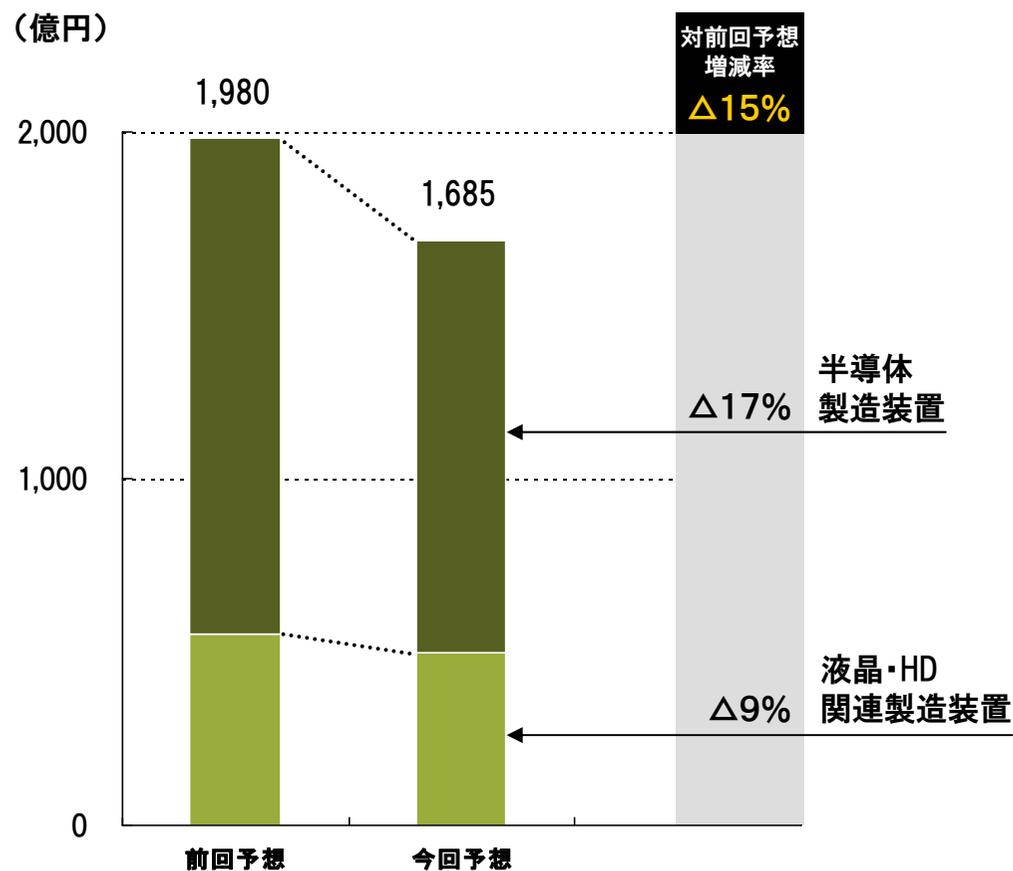
(億円)



2009年3月期 業績予想（電子デバイスシステム）

売上高

主な偏差要因



■ 半導体製造装置

- ・プロセス製造装置は堅調なるも、評価・検査装置等への投資抑制は継続し、回復が遅延

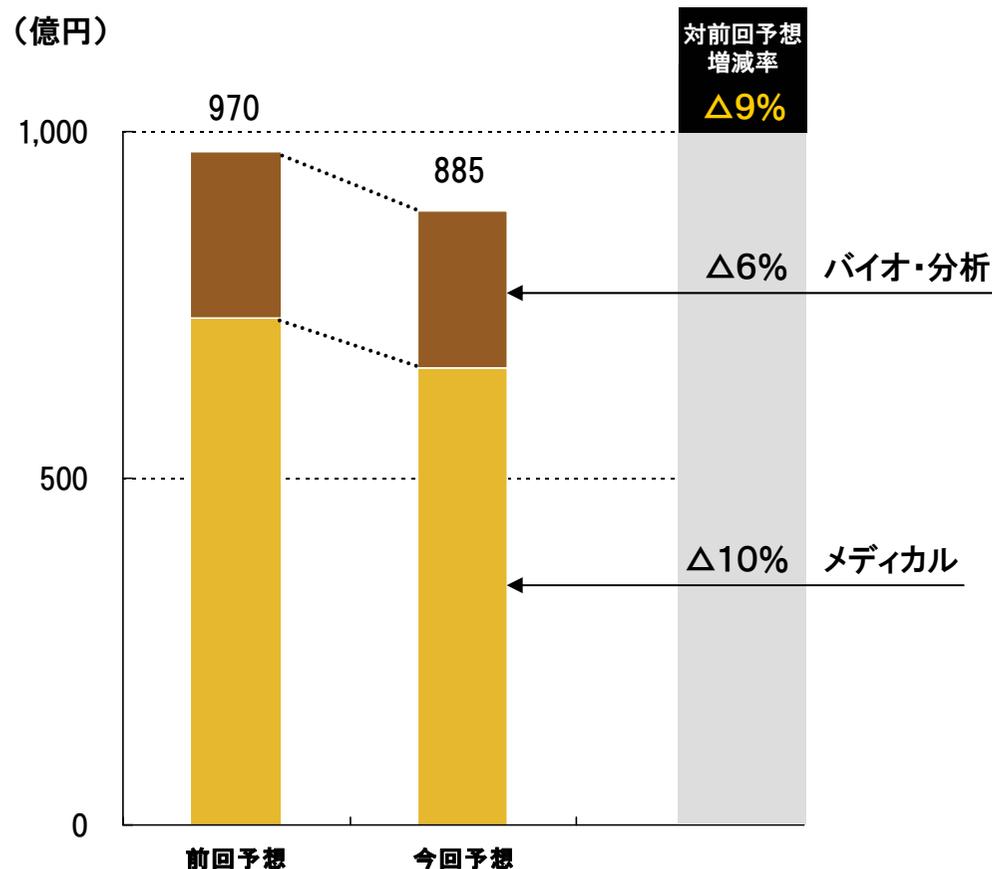
■ 液晶・HD関連製造装置

- ・液晶関連製造装置は、後工程を中心に納期延期等により売上減少
- ・HD関連製造装置は、需要低迷続く

2009年3月期 業績予想 (ライフサイエンス)

売上高

主な偏差要因



■ バイオ・分析

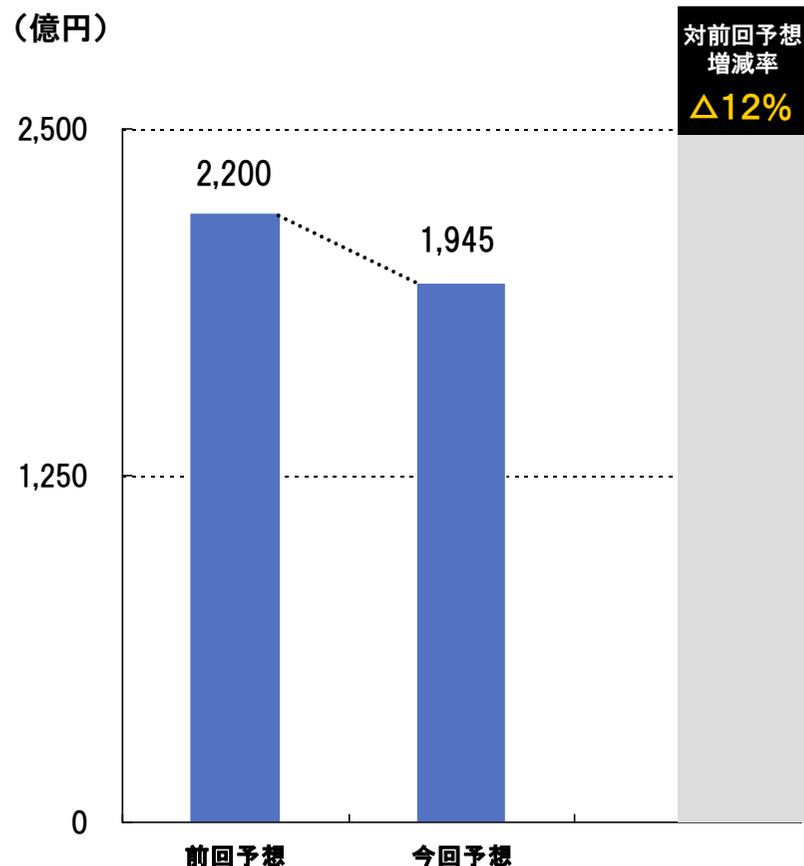
- ・DNAシーケンサは、鑑定用等底堅く推移
- ・液体クロマトグラフ質量分析装置は、景気減速による民間投資抑制で減少

■ メディカル

- ・欧米向け医用分析装置は、出荷は好調も為替換算により減収

売上高

主な偏差要因



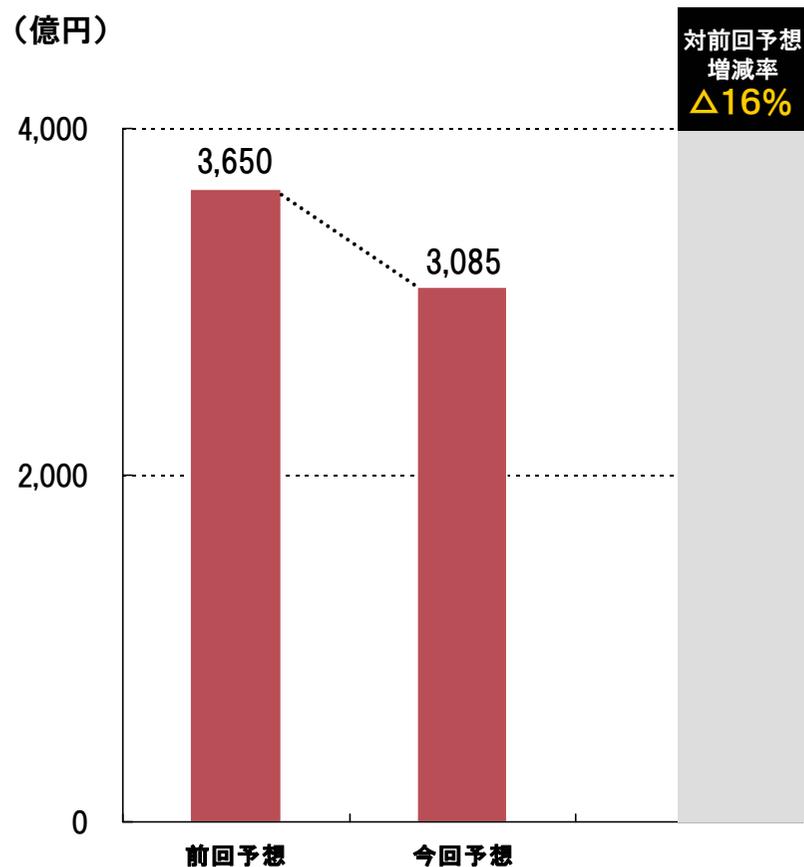
■ 情報エレクトロニクス

- ・携帯電話、PC等最終製品の需要減少により、半導体デバイス、メディア関連部材の売上減
- ・米国向け携帯電話端末は、新モデル投入により堅調に推移
- ・チップマウンタは、EMS等顧客の生産稼働率の急激な落ち込みにより投資が減速

2009年3月期 業績予想（先端産業部材）

売上高

主な偏差要因



■ 先端産業部材

- ・工業材料・部材等は、世界的な景気後退、素材価格の下落等により全般的に低調
- ・液晶関連部材は、液晶パネルの生産調整により減少
- ・シリコンウェーハは、半導体の減産に伴い減少

Ⅱ

参考:データ集

(注)08年実績は会計方針変更後の数値

四半期業績の推移

(億円)

	07年3Q	07年4Q	08年1Q	08年2Q	08年3Q
売上高	2,263	2,296	1,829	2,404	1,633
営業利益	81	178	19	106	23
経常利益	86	164	26	113	30
当期利益	55	67	△2	78	20

■セグメント別売上高

(億円)

	07年3Q	07年4Q	08年1Q	08年2Q	08年3Q
電子デバイスシステム	587	661	250	612	327
ライフサイエンス	261	261	248	243	213
情報エレクトロニクス	543	539	443	616	420
先端産業部材	873	834	888	933	673

設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	08/3	09/3 (前回予想)	09/3 (今回予想)	前回 予想比
設備投資額	113	149	132	△11%
減価償却費	89	99	91	△8%
研究開発費	204	224	221	△1%

(注)設備投資額は取得ベースにて記載

前回予想比 増減説明

- 設備投資額： 17億円減少
 - ・デモ用設備取得時期見直し等
- 減価償却費： 8億円減少
 - ・固定資産取得時期見直し、売減却等

四半期業績の推移

(億円)

	07年3Q	07年4Q	08年1Q	08年2Q	08年3Q
電子デバイスシステム	587	661	250	612	327
プロセス装置	248	170	83	206	141
評価・解析装置	165	291	94	187	77
液晶関連製造装置	71	112	22	116	64
HD関連製造装置	21	22	4	28	8
その他	82	66	47	76	37
ライフサイエンス	261	261	248	243	213
バイオ・分析	50	57	40	53	36
メディカル	178	177	189	177	154
その他	33	27	19	13	22
情報エレクトロニクス	543	539	443	616	420
情報システム	191	207	149	309	203
組立装置	72	79	50	94	32
半導体	104	90	85	83	40
メディアデバイス	80	78	68	56	38
その他	96	85	91	74	107
先端産業部材	873	834	888	933	673
工業材料	398	418	421	478	340
電子デバイス材料	176	222	240	224	137
光関連部材	67	66	74	81	62
その他	232	128	153	150	134

<資料取り扱い上の注意>

- ① 本プレゼンテーションで述べられている決算概要及び業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結です。
- ② 数値情報は、億円未満を四捨五入しています。
- ③ 増減率は、基本的に円単位で計算しています。
- ④ 本プレゼンテーションで述べられている将来の当社業績に関する予想は、現時点で知りうる情報をもとに策定されたものです。当社の参画する産業界はテクノロジーの変化が速く、競争の激しい産業です。また、世界経済、半導体市況、為替相場など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、今後、当社の業績が本プレゼンテーションと異なる可能性があることをお含みおさください。但し、大きな変動がある場合は、証券取引所の適時開示規則及び当社の自発的判断等に基づき、その都度公表していく所存です。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

END

2009年3月期 第3四半期決算補足資料

お問合せ先
社長室 広報・IRグループ 部長代理 加藤 弘之
TEL:03-3504-5138 FAX:03-3504-5943
E-mail:kato-hiroyuki@nst.hitachi-hitec.com

日立ハイテク

最先端を、最前線へ。